

# 発音記号を使用した 英語発音指導の取り組み

神戸学院大学  
グローバル・コミュニケーション学部  
中西のりこ

2015.08.06  
LET 第55回 全国研究大会  
@千里ライフサイエンスセンター



1

## 1. はじめに

### 1-1. 「英語が使える日本人」

【新教育課程の推進】  
○新学習指導要領の趣旨の実現  
平成14年度から順次実施されている新しい学習指導要領においては...  
...中学段階については、「聞くこと」「話すこと」の音声によるコミュニケーション能力の育成に重点を置いて、高等学校段階については、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4つの領域を有機的に関連付け...  
文部科学省 (2003)

- ⇒10年経過したが、「音声によるコミュニケーション能力」が育成されたようには感じられない。
- ⇒「読むこと」に関しては、理詰め指導が行われている。
- ⇒英語発音指導にも、理屈が必要ではないか？

2

### 1-2. 中学検定教科書6社 発音記号カバー率 (%)

|    | New Horizon | New Crown | Sunshine | Total English | One World | Columbus 21 |
|----|-------------|-----------|----------|---------------|-----------|-------------|
| 母音 | 81          | 50        | 95       | 81            | 100       | 59          |
| 子音 | 75          | 25        | 87       | 95            | 100       | 58          |

上田・大塚 (2010) より抜粋

- ⇒カバー率に差はあるが、発音記号は使われている。

### 1-3. 文科省の指針

音声指導の補助として、発音表記を用いて指導することができる  
文部科学省 (2008, 2009)

- ⇒発音記号を用いた指導を積極的に奨励しているわけではない。

3

## 2. 手順

### 2-1. 授業実践(概要)

#### シラバス

- ・「中学・高校で培ってきた英語力の基礎固めをしながら、主にリスニングとスピーキングに重点をおき...」
- ・「主としてリスニング、スピーキング用の教材を用い...」

#### 使用テキスト

- ・染谷・南津『Reading Powerhouse』金星堂。

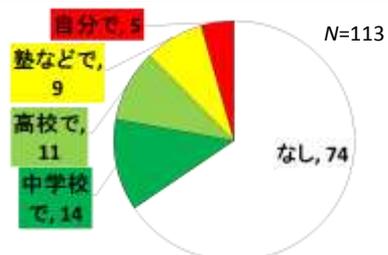
#### 参加者(6クラス, 実質136人)

- ・経営学専攻1年生「標準英語」N=27, 26, 24 (3クラス)
- ・スポーツ系1, 2年生「英語」N=10, 25, 24 (3クラス)

4

### 2-1. 授業実践(参加者のバックグラウンド)

Q: 大学に入るまでに、英語の発音記号を習ったことがありますか？



- ⇒中学・高校で発音記号を習った学生は約2割
- ⇒英語音声を理論的に指導するには発音記号が必要

5

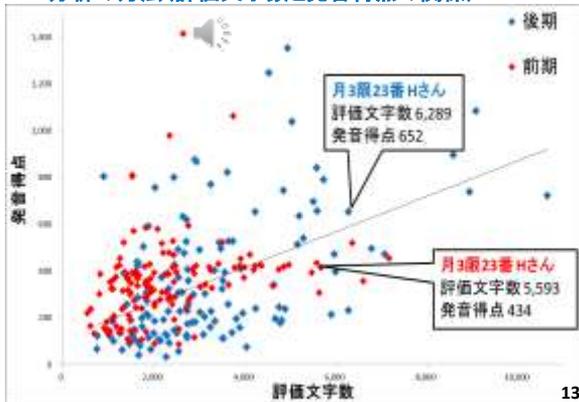
### 2-1. 授業実践(90分授業の流れ)

| 分       | 活動            | 概要  |
|---------|---------------|---|
| ① 00-10 | Voc. check    | Web 上でVocabulary check 問題に回答、答え合わせをする。                      |
| ② 10-20 | Introduction  | You Tubeなどで関連するトピックについての知識を得る。                              |
| ③ 20-40 | Reading       | WPM測定、Web 上でComprehension Q, Language focus 問題に回答、答え合わせをする。 |
| ④ 40-60 | Pronunciation | その日に注目すべき発音のポイントについての解説を聞き、発音練習をする。                         |
| ⑤ 60-70 | Recording     | PC標準搭載のソフトを用い、④で練習した1文を録音し、学内システム経由で提出する。                   |
| ⑥ 70-90 | Peer Feedback | ⑤で回収・再配布された音声について、学習者間フィードバック活動を行う。                         |

6



2-2. 分析の方法(評価文字数と発音得点の関係)



発音のポイント 6月 ⇒リズム・イントネーションに焦点。  
⇒音素レベルの指導を開始。

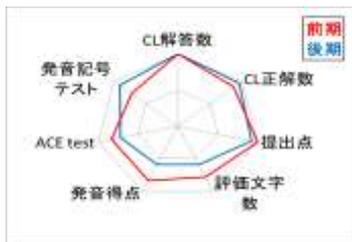
Unit 3 text 2  
The Program for International Student Assessment, or PISA, is a two-hour test → that compares the performance of 15-year-old students.

最近、自分の読むクセを見つけた。それは、舌を巻きすぎることだ。そこを気をつけたが、なかなかとれない。

Unit 4 text 1 あいまい母音 /ə/  
Each year, Americans throw away → millions of tons of electronic devices.

舌を巻きすぎているところをやっぱり指摘されていたのでそのクセの改善と、声をもっと大きく出す努力をしようと思った。

2-2. 分析の方法(月3限 23番 Hさん 成績評価)



- ⇒授業活動、提出物はほぼ満点。
- ⇒評価文字数・発音得点はmaxとの比率では前期>後期
- ⇒ACE placementテスト(リスニング・語彙・文法・リーディング)はmaxとの比率では前期>後期
- ⇒発音記号テストはmaxとの比率では前期<後期

発音のポイント 9月, 11月 ⇒連結・脱落・音声変化。  
⇒発音記号テストを開始。

Unit 7 text 1  
Haiti holds elections on Sunday → for a new president and National Assembly.

ハイチじゃなくて、ヘイティ。エレクションではなくてイレクシャン。大きな声で発音できた。

Unit 9 text 2  
This week, Moody's Investors Service Inc. → one of the largest credit rating companies in the world → lowered its credit rating for Japan.

パラグラフ④3行目 予想よりはよかった、つまり、よよかった、ということ。クレジットではなく、クレディツ

3. 結果

発音のポイント 4月 ⇒語強勢に焦点。  
⇒自分の声を客観的に聞くことに慣れる。

Unit 1 text 1  
The recent school shootings in Connecticut have again raised questions about the role of violent media in mass shootings.

Intro 「ガイダンス・音声を録音の練習をした」

Unit 1 text 2  
Chuck Berry, the man often called the "Father of Rock 'n' Roll," will be 86 this week and is still performing.

発音のポイント 12月 ⇒米音・英音の違い。  
⇒基本的な発音記号を2か月で網羅。

Unit 11 text 2  
Eleven countries first began to use the euro in 1999.

Unit 11 Text 2 p. 85-88  
countries /kʌntri:z/ first /fɜ:st/ 初め  
began /bɪɡən/ euro /jʊə/ あり

Unit 12 text 2  
The disease known as "Bird Flu" is spreading rapidly, killing people in at least 10 countries since 2003.

Unit 12 Text 2 p. 93-106  
disease /dɪzɪ:z/ Flu /flu:/ Bird /bɜ:d/ rapidly /ræpɪdli/

## 4. 自由提出アンケートから

### 4-1. 記号化できる→発音できる

- ・発音記号の存在のおかげでどこを強く読べばいいのかが把握できるようになりました。
- ・発音記号が表わしている意味が分かれると発音記号をただで発音できるようになるなと思いました。また、その逆で発音しているのを聞いてだけで発音記号が思い浮かぶと、もっと自分も口に出しやすいと思います。
- ・発音記号の一つ一つに意味があるということがわかり、そして文字の読み方を覚えることができると、一気に発音記号の活路を見いだせると私は考えている。
- ・発音記号を学んで気づいたことは、発音記号の形は、口の形であったり、アルファベットの発音そのままであったので比較的覚えやすかった。
- ・発音記号を完璧にマスターすることができたら、見知らぬ英単語が出てきたとしても、読むことができるのです。これはとても便利なことだと思います。

19



22

### 4-2. 発音記号テストに拒絶反応→「できる」「楽しい」

- ・わからなくて、嫌になった日もありましたが、テストで良い点を取りたいので、時間があれば発音記号を見ていました。
- ・最初はテスト毎週あるのかよ、めんどくせと正直思っていたのがなれていくとテストが苦にならずになっていきました。あと友達と覚え方を相談して面白い読み方をして覚えるのもいいと思います。
- ・発音記号は先ほどの質問でも回答したようにどのようの読めばいいのかわかりませんでしたがいざ勉強してみれば覚えることは少なくマスターしてしまえば思ったより簡単なものなんだと感じました。
- ・口をまくとかthの発音で歯を口にはさむなど見た形そのままが記号になっているものもあり面白い一面もあるんだなと感じました。
- ・書きなれない文字を書くことに抵抗を持ったけど、書くうちになれました。発音ができるようになってくると、書くのも易しく感じました。発音記号を書くときは実際に発音しているときの口の形を思いだしながらやると、舌の形を表しているの、覚えやすかったです。

20

## 5. 今後の展望と課題

「英語会話」担当

キーワード: 英会話 自発的発話 内容構成 発音

「発音のポイント」を一斉指導できない

23

### 4-3. 聴覚情報と視覚情報を関連づける

- ・学習のコツについてですが、私はひたすら書いて覚えようとしていました。しかし、今思うと、その単語の正しい発音の感覚と発音記号を頭の中で一致させた上で、発音しながら書いて覚えようとするよりも早く覚えられたのではないかと思います。また、この方法で学習していれば、どの単語にも対応できるようになれたのではないかと考えられ、借しいことをしてしまったと今になって気づきました。
- ・まず発音記号を覚える際に良いなと思ったコツは小さく呟きながら書くことだと思います。
- ・発音記号を覚える際に気づいたことは、ひたすら読んで読んで読んで、書いて書いて書いての繰り返しで覚えるしかないといった感じでした。
- ・発音記号を覚える時にのコツは、自分は声に出しながら書くことだと思います。
- ・頭の中で発音をしつつ書くのを繰り返すのが一番いいと思いました。
- ・発音を覚えようと思ったらただ単に見るのではなくまずは声に出してみる。次に紙に書いてみると覚えやすかったです。

21

## 参考文献

- 河内山真理・山本誠子・中西のりこ・有本純・山本勝巳 (2011). 「小中学校教員の発音指導に対する意識--アンケート調査による考察」『LET 関西支部研究集録』, 13, 57-78.
- 文部科学省 (2003). 「英語が使える日本人」の育成のための行動計画」. [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/siryo/04031601/005.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/siryo/04031601/005.pdf)
- 文部科学省 (2008). 『中学校学習指導要領』京都: 東山書房
- 文部科学省 (2009). 『高等学校学習指導要領』京都: 東山書房
- 中西のりこ・阪上潤・山本祐太 (2015). 「発音記号学習に対する大学生の意識の変化: KJ法による分析」. LET関西支部2015年度春季研究会発表要項集, 8.
- 染谷泰正・南津佳広 (2014). 『VOAで学ぶ多読・速読の基礎 -Reading Powerhouse』東京: 金星堂.
- 上田洋子・大塚朝美 (2010). 「発音と音声のしくみに焦点をあてた中学校英語教科書分析: インプットの基礎を考察する」『大阪女学院大学紀要』, 7, 15-32.

24